



## —学生自らが知見・主張を発信する社会実践プロジェクト— 【14年連続】AC ジャパン広告学生賞を受賞！

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、社会実践プロジェクト\*の一つ「ACプロジェクト」において学生が制作した作品を「ACジャパン広告学生賞」（公益社団法人ACジャパン主催）へ毎年応募しています。2021年度はテレビCM部門で『充実した1日は充電が減らない』が準グランプリBS民放賞を、『ひとりひとりの意思』が優秀賞を受賞。新聞広告部門では『いろんな「ふうふ」』が、奨励賞を受賞しました。本学の社会実践プロジェクトの作品が入賞したのはこれで14年連続となります。

### \*社会実践プロジェクトとは？

「講義や実習で得た知識を生かし、社会に向けて自らの知見や主張を積極的に発信していこう」という考えのもと、より現実的で実践的な学びを推進するプロジェクト。

### 第18回「AC ジャパン広告学生賞」受賞作品について

#### ■テレビCM部門（応募作品総数260作品）

##### ・準グランプリBS民放賞

作品名【充実した1日は充電が減らない】

テーマ：スマホ依存

制作者：高見澤海羽さん

／社会学部メディア社会学科2年(受賞当時)

##### 【この作品について】

2年次にCM制作のゼミに所属し、授業形態はオンラインでしたが授業内で作ったCMで準グランプリを受賞することができました。テーマは社会問題にもなっている「スマホ依存」。退屈な時間が多いとスマホをつい手に取ってしまうため、生活を充実させることがスマホ依存から抜け出す第一歩となるのではないかと考えました。思い出を簡単に手元に残せるというスマートフォンのメリットも伝えるために、女の子たちのキラキラした表情を画面に詰め込み、自作のCMソングと「充実した1日は充電が減らない」というキャッチコピーで表現しました。（高見澤海羽）



##### ・優秀賞

作品名【ひとりひとりの意思】

テーマ：臓器提供意思表示の登録推進

制作者：山下笑佳さん

制作スタッフ：稲田塔子さん、酒井莉子さん、高見澤海羽さん

／社会学部メディア社会学科2年(受賞当時)



#### ■新聞広告部門（応募作品総数520作品）

##### ・奨励賞

作品名【いろんな「ふうふ」】

テーマ：LGBT

制作者：稲田塔子さん

／社会学部メディア社会学科2年(受賞当時)



—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報部

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えます。



■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。2022年4月より武蔵大学は、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科から成る文系総合大学となる。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設した。

学長 高橋徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1